

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和4年6月27日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住所 福岡市博多区金の隈3丁目24番16号

氏名 医療法人 相生会 金隈病院

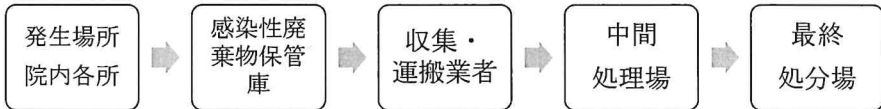
病院長 田中 洋輔

電話番号 092-504-0097

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人相生会 金隈病院
事業場の所在地	福岡市博多区金の隈3丁目24番16号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

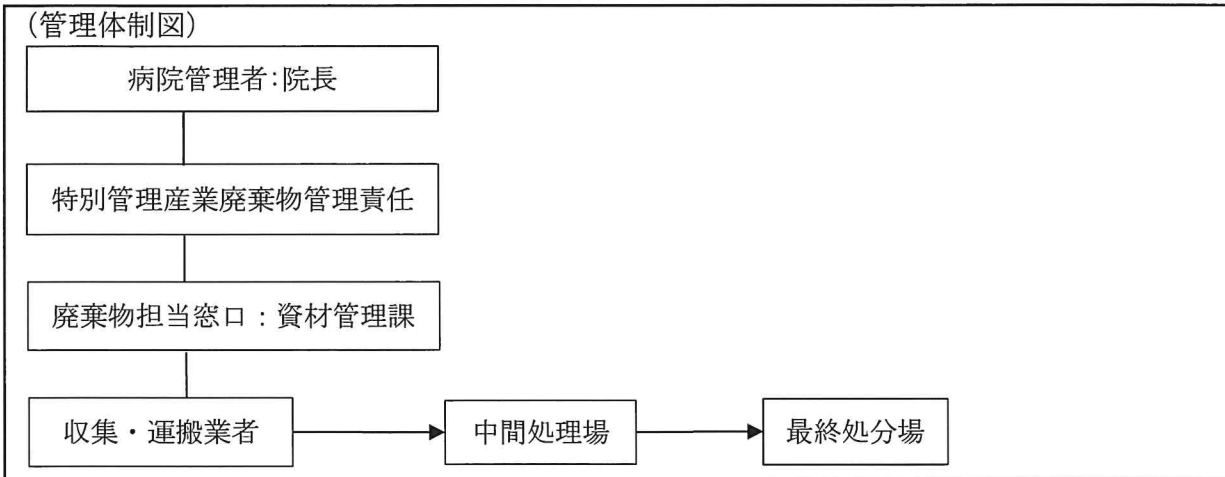
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	医療業
②事業の規模	395床
③従業員数	353名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	 <p>院内医療業務によって発生した感染性廃棄物は、業務委託している収集運搬業者が中間処理場へ運搬し焼却処理を行う。焼却処理後は管理型埋立にて最終処分される。</p>



(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	61.118 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 感染性廃棄物と非感染性廃棄物の分別の徹底		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	58 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 医療機関という特性上感染対策の徹底は必須であることから排出量の抑制は非常に困難であるが、非感染性廃棄物や一般廃棄物との分別を徹底できるよう継続した周知活動を行う。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 感染性廃棄物はプラスチック容器（鋭利なもの・液状のもの）と、段ボール（固形状のもの）とに分別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状の取組を継続する

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	- t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	- t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（           年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	61.118 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 契約書、許可証の有効性確認		

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	58 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処分場の実地調査等を検討している。</li> <li>・許可証等の有効性について確認を行う。</li> </ul>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（令和 3 年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物 排出量 <small>(ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)</small>	61.118	t
<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェスト導入済み。運用を継続する。</li> </ul>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入す  
ス  
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。  
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元  
元売上高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に  
業種に  
事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。  
(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終  
するまでの一連の処理の上程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入  
す  
と。
- 4 「目ら行つ特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄  
物種類ごとに、目ら中間処理を行つに際して熱回収を行つた場合における熱回収を行つた特別  
管理産業廃棄物の量と、目ら中間処理を行つことによつて減量した量について、前年度の実績、理  
目標及び取組を記入すること。
- 5 「目ら行つ特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄  
物種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行つことにより特別管理産  
業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種  
類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内訳として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及  
び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生  
利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1  
項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱  
回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入す  
ること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生  
量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除  
を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関す  
る取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律第  
8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別  
紙おとり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理  
産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、  
当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項  
がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位：トン（t）

①現状【前年度（令和3年度）実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類						排出量合計
		感染性廃棄物						
<b>抑制に関する事項</b>								
①現状	排出量	61.118					61.118	
②計画	排出量	58					58	
<b>再生利用に関する事項</b>								
①現状	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量						0	
②計画	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量						0	
<b>中間処理に関する事項</b>								
①現状	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量						0	
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量						0	
②計画	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量						0	
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量						0	
<b>自ら行う特別管理産業廃棄物の理立処分又は海洋投入処分にに関する事項</b>								
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量						0	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量						0	
<b>特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</b>								
全処理委託量		61.118					61.118	
①現状	優良認定処理業者への処理委託量						0	
	再生利用業者への処理委託量						0	
	認定熱回収業者への処理委託量						0	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						0	
全処理委託量		58					58	
②計画	優良認定処理業者への処理委託量						0	
	再生利用業者への処理委託量						0	
	認定熱回収業者への処理委託量						0	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						0	

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月27日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住所 福岡市博多区金の隈3丁目24番16号

氏名 医療法人 相生会 金隈病院  
 病院長 田中 洋輔

電話番号 092-504-0097

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和3年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	医療法人 相生会 金隈病院
事業場の所在地	福岡市博多区金の隈3丁目24番16号
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	52.5 t	全処理委託量	52.5 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 52.56 t 前年度 54.13 t
------------------------------------	-----------------------------

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)  
 電子マニフェストの使用を継続する。

※事務処理欄

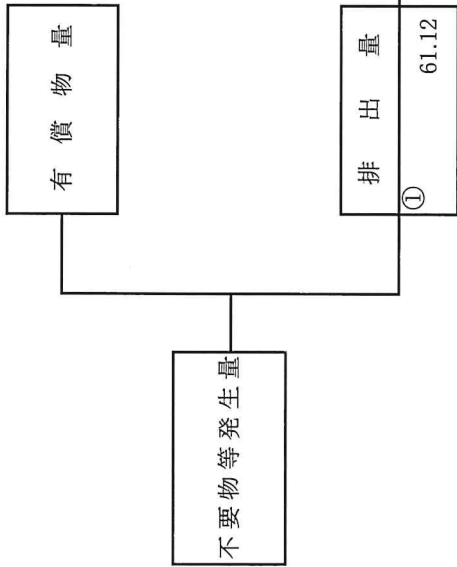


(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 感染性廃棄物)



項目	実績値
①排出量	61.12 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	61.12 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。